

令和7年6月30日  
小樽開発建設部  
東日本高速道路(株)北海道支社

**E5A 後志自動車道（仁木IC～余市IC）  
開通後の交通状況をお知らせします**

令和7年3月23日に開通した後志自動車道（仁木IC～余市IC）の開通後の交通状況等について、お知らせします。

【開通区間の交通量の状況】

- 仁木IC～余市ICの開通後の24時間交通量（令和7年5月平均）は、約3,600台/日でした。
- 仁木IC～余市IC間の開通に伴い、後志自動車道の開通済区間の24時間交通量（令和7年5月平均）は、開通前と比較して約2割増加しました。
- GW期間中の12時間交通量の調査結果からは、開通区間に並行する国道5号を利用していた交通の約1割が後志自動車道に転換していました。

【地域の声】

- 開通区間の利用者からは、仁木IC～余市ICの開通に伴い、物流の定時性向上、救急搬送時の速達性・安定性向上等の声が寄せられています。

※1 交通量等の詳細については、別紙1を参照ください。

【問合せ先】

■全般について

国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部  
 道路計画課 課長 坂ノ上 有紀（電話 0134-23-5229）  
 道路計画課 道路調査官 小池 敦史（電話 0134-23-5229）  
 （小樽開発建設部ホームページ） <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



■余市IC～小樽JCTおよび朝里IC～銭函ICの交通量について

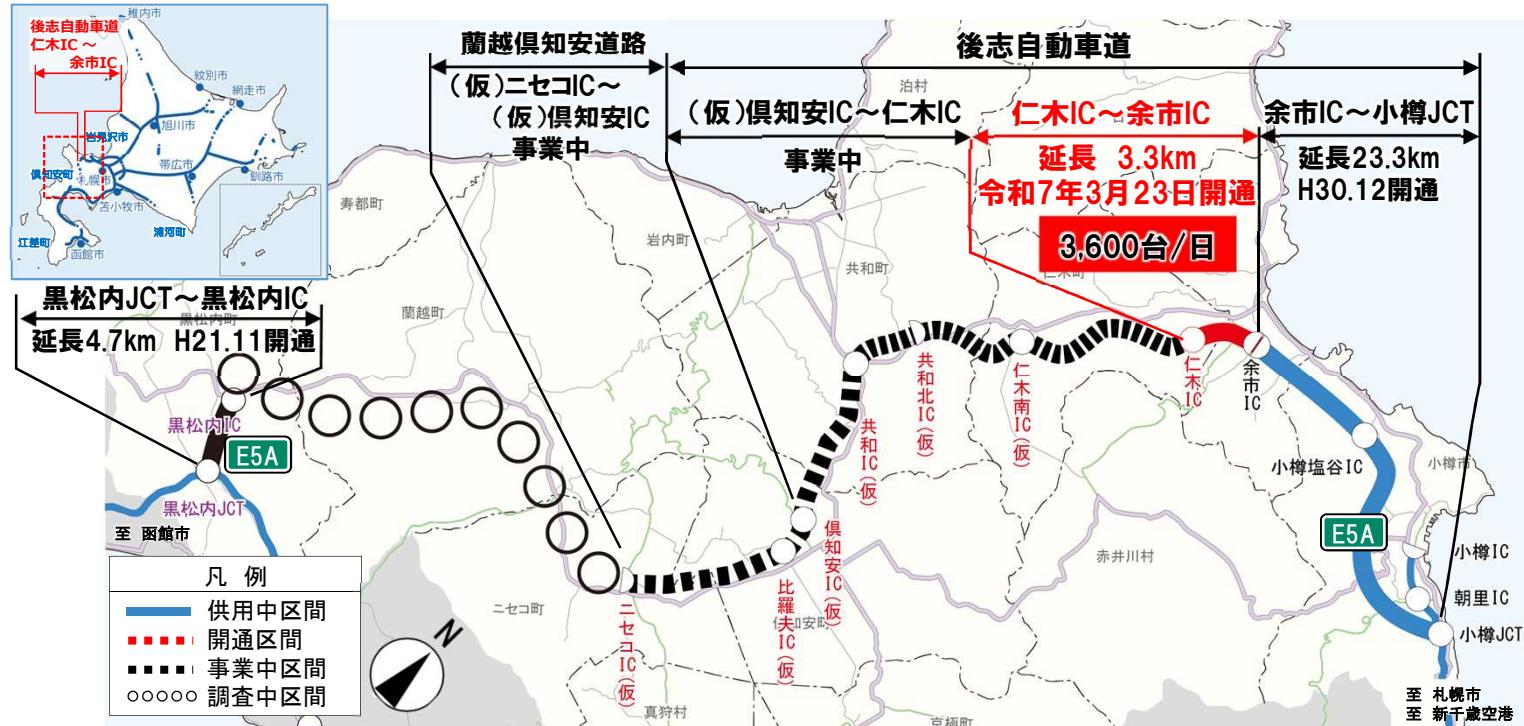
[報道関係者専用] NEXCO東日本北海道支社広報課（電話 011-896-5238）

## 開通後の交通状況

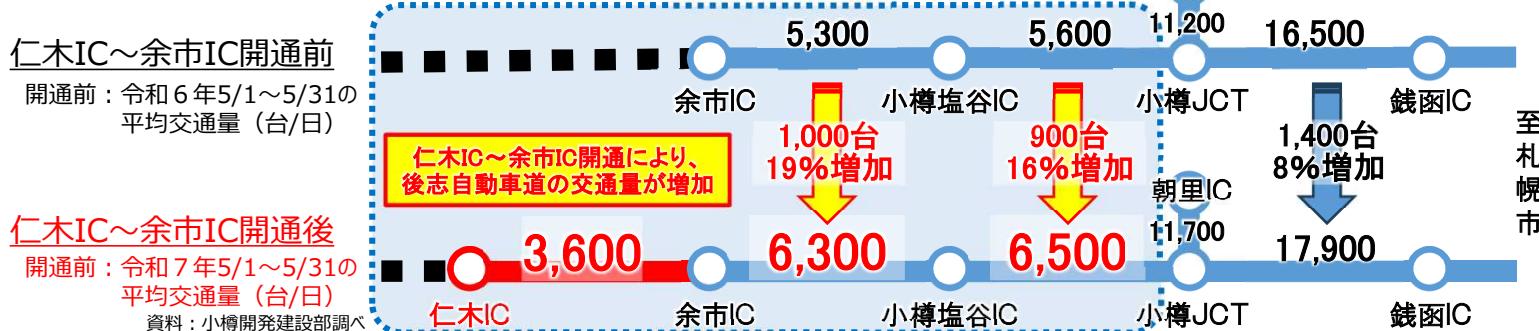
- ◆ 仁木IC～余市ICの開通後の24時間交通量（令和7年5月平均）は、約3,600台/日でした。
- ◆ 仁木IC～余市ICの開通に伴い、余市IC～小樽JCT間の交通量が約2割増加しました。

## 後志自動車道の交通状況

## ▼事業位置



## ● 仁木IC～余市IC開通による交通量の変化



## ● 余市IC



## ● 仁木IC



# 仁木IC～余市IC 開通後の交通転換

- ◆ GW期間中の12時間交通量の調査結果からは、開通区間に並行する国道5号を利用して いた交通の約1割、フルーツ街道（町道）を利用していた交通の約5割が後志自動車道 に転換していました。



## 地域の声：物流・救急医療における変化



- 石狩市の物流拠点から函館に医薬品などを輸送する際に国道5号を通行します。
  - 医療機関への医薬品輸送は、特に時間厳守が求められるため、仁木ICの開通により、混雑する余市町市街地を回避できるので、**輸送時間の安定化、交通事故防止、ドライバーの負担軽減に寄与**していると思います。



- 仁木方面から小樽方面への搬送では、これまで国道5号を通行していましたが、後志自動車道（仁木IC～余市IC間）が開通したことで、余市町市街地を回避する救急搬送ルートが確保され、迅速に搬送できるようになったと実感しています。
  - 高規格道路は走行の安定性が高く、交差点進入時の徐行や速度低下もないため、搬送時の振動や加減速による揺れが軽減されることで、搬送患者及び同乗者への負担軽減につながっていると思います。